

令和6年度第2回府中市障害者差別解消支援地域連絡会議議事録

■日時：令和6年12月3日（火）午前10時

■場所：府中市役所本庁舎 A401会議室

■出席者：（敬称略）

<委員>

長谷川敬祐、小野寺敏雄、渡辺里江子、宮本敬太、加賀美 敦子
原郷史、築山忠泰、高橋史、栗山恵久子、山下桐子、高澤久美子、
熊坂奈美

<事務局>

障害者福祉課長、障害者福祉課長補佐、障害者福祉課主査（3名）、障害者福祉課保健師（1名）、障害者福祉課事務員（2名）

■議 事：

1. 開会

（1）資料の確認

2. 議事

（1）今後のスケジュールについて

（2）公募について

（3）作業部会について

（4）グループワーク

3. 事務連絡等

■資 料：

レジュメ

資料1 委員名簿

資料2 席次表

資料3（修正反映）令和6年度第1回障害者差別解消支援地域連絡会議議事録

議事

1. 開会

■事務局

それでは定刻になりましたので始めさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまより令和6年度第2回府中市障害者差別解消支援地域連絡会議を開催いたします。どうぞよろしく願いいたします。なお本日の会議はおおむね2時間程度を予定しておりますのでご了承くださいませようお願いいたします。

(1) 資料の確認

■事務局

会議を始める前にまず資料の確認をさせていただきます。本日の資料はまず「レジュメ」が1枚。続きまして資料1「委員名簿」。続きまして資料2「席次表」。最後に資料3「令和6年度第1回障害者差別解消支援地域連絡会議議事録」になります。資料3の議事録につきましては皆様に校正いただいたものを反映しておりますのでお手数ですが、ご確認いただきまして、追加の修正等がありましたら会議終了後にお伝えいただければと思います。資料については以上になりますが不足など不備がある方はいらっしゃいますでしょうか。会議の途中で印刷の落丁などがあった場合は事務局までお申し付けください。会議録を作成するにあたり委員の皆様の発言を録音させていただいておりますので予めご了承ください。また、グループワークの時など写真撮影をする場合もございましたのでご了承ください。これからの進行は会長をお願いいたします。

■会長

皆さんおはようございます。今日もどうぞよろしく願いいたします。議事の全体像ですけれども、(1)～(3)が事務局からの説明で(4)が我々の作業ということになります。

2. 議事

(1) 今後のスケジュールについて

■会長

最初に（１）～（３）について事務局から説明をお願いいたします。

■事務局

ありがとうございます。まず議題１の「今後のスケジュールについて」説明いたします。令和７年度は引き続き啓発動画の作成や周知に向けて取り組む予定となっておりますが、それに向けて令和７年のレジュメでは１月からと書いてあるのですが、２月から３月にかけて作業部会を開催予定です。作業部会につきましては後ほど説明させていただきます。

（２）公募について

■事務局

続きまして議題２の公募についてです。ストーリーに関しては委員の皆様が絵コンテを基に作成いたしまして、キャッチコピーにつきましては小中学生に募集することといたしました。まずストーリーにつきましては委員の皆様が提出してくださった絵コンテのクオリティが大変高く、啓発動画のストーリーとすることで委員の皆様の思いを形に出来ることから、ご提出いただいた絵コンテを基にすることとなりました。今回のグループワークで絵コンテを選定し、さらに作業部会で仕上げていくという流れを予定しております。なお今後の皆様の絵コンテを編集や脚色する可能性があり、動画の作成後には様々な媒体などでの活用を予定していることから、著作権に関する同意書を取らせていただくことになりました。絵コンテを提出されていらっしゃるがまだ同意書をご提出されていない方は、会議後でも構いませんのでご提出をお願いいたします。次にキャッチコピーにつきましては今後の方向性にもよりますが、教育部門の方にご協力いただきまして小中学生が今、学校でタブレットを使っていると思うのですけれども、そのタブレットでキャッチコピーを募集して集まったキャッチコピーをまた来年度の会議で、委員の皆様を選定していただくという流れを想定しております。また完成した啓発動画を小中学生に視聴いただくところまでを教育の一環としてもらえれば、障害への理解も深まるのではないかと考えております。今回のグループワークでは小中学生がキャッチコピーを作りやすいようにテーマを皆様に考えていただければと思っております。

(3) 作業部会について

■事務局

続きまして議題3の作業部会についてです。先ほど少し説明させていただきましたが、今回のグループワークで選定いただいた絵コンテを基に4つのストーリーを伝わりやすくするためにはどうしたらいいかについて検討が出来ればいいと考えております。作業部会の開催時期は令和7年の2月から3月で事前に日程表をお送りしておりますが、本日も候補日を受付の方で持っておりますのでご参加いただける方はご提出をお願いいたします。議題1から3の説明は以上です。

■会長

はい。ありがとうございました。委員の皆様今のご説明の中でご質問ありますでしょうか。はい。ではお願いします。

■委員

作業部会のことなのですからけれども、丸を付けた全てが開催されるということでしょうか。

■事務局

作業部会は1日だけなので候補日は複数ありますが1日だけの開催となりますのでよろしくをお願いいたします。

■会長

はい。ありがとうございます。その他ご質問ありますでしょうか。

(発言者なし)

■会長

大丈夫ですね。もし何かあれば最後にご発言いただければと思います。

(4) グループワーク

■会長

では早速本会議の主題であるグループワークについて進めたいと思います。これから3つのグループに分けてグループワークを進めます。グ

グループについては前回と同じですけれども、出欠者の関係で別グループに移動していただいている方もいらっしゃいます。ファシリテーターに関しても前回と同様です。最後に各グループで発表を行いますので、これもいつもと同様に発表者と書記についても適宜グループ内で決めていただければというふうに思っています。今日していただくことが次第にも書いてありますけれども、大きく分けて2つになります。1つ目が絵コンテの選考になります。各グループ、机に前回提出いただいた絵コンテがあります。各グループの絵コンテの内容は違う内容になっていますので、その中から各グループで動画にしたいなと思うような絵コンテを選んでもらうという作業が、今回の作業になります。絵コンテは障害種別ごとに分けてはいますけれども、あまりそこは厳密に考えなくても大丈夫ということですので、絵コンテを選考していただいた後各グループで5分間発表してもらうという形を取らせてもらえればと思います。その後10分間の休憩挟みまして、2つ目のグループワークでキャッチフレーズのテーマの設定ということをお願いしたいと思います。これはキャッチフレーズを検討するのではなく、小中学生がキャッチフレーズを検討するためのテーマの設定、いわば説明文みたいなところだと思っておりますけれども、そういったことを検討するということになりますので頭の中を整理していただければと思います。順序としてはそれぞれご自身でテーマを検討する。グループ内で各委員のアイデアを共有する。各グループ5分ほどで発表してもらうという形になります。アイデアを書き出す際には各机に後ほど配布する付箋や模造紙等をご利用いただければと思います。時間配分はレジュメに書いてある通りですので、こちらを参考にしてください。ということで説明は以上になりますが、確認しておきたい事項はありますでしょうか。

(発言者なし)

■会長

やってみても何かありましたら事務局にご質問いただければと思います。1回目のグループワークを早速始めていただければと思います。よろしくお祈いします。

～グループワーク～

■会長

では、各グループで、そのような話になったのか A グループから発表をお願いします。

■委員（A グループ）

障害者の方がどういう困り方をしているのかということが非常にわかりやすい。シチュエーションがわかりやすいということとそれに対して何かしたいのだけど、どうしたらいいか専門的にではなくて、「お手伝い出来ることはありますか」というふうに声を掛ける第一歩を、背中を押すようなことが出来るような動画になるのではないかと考えて、こちらの方を選択いたしました。全体的にこちらの方の流れとグループ内の希望としては、ここに例えば府中といえはふちゅこまという市のキャラクターがありまして、聴覚障害者用のスタンプでふちゅこまがあることと、お子さんに人気なので最後にキャッチコピーをふちゅこまが手話で伝えるようなアニメーションがあるといいのではないかと考えました。予算的な問題もあるかと思うので希望としてはアニメーションで動くふちゅこま。ぬいぐるみの方は手話が出来ないのでアニメーションで入れる、もしくは最後のところにふちゅこまがキャッチコピーのところにいるというような形を取れば府中らしさが出るのと、子供達も見てくれるのではないかとこのところが意見として挙がりました。こんな時は声を掛けようというところで「お手伝い出来ることはありますか」と声を掛けて、自分が出来ないことでも周りの方にそれをお伝えしてお願いするということは出来るのではないかとこのように、出来ればそういった支援の輪のようなものが作っていけるという作りになれば、よろしいのではないかと考えてこちらを選択させていただきました。以上です。

■会長

ありがとうございます。続いて B グループ、お願いいたします。

■委員（B グループ）

B グループは絵コンテを選ぶのが正直難しかったです。こちらのグループは知的障害・自閉症・発達障害・精神パニック障害という感じの方への配慮や対応というものを絵コンテで選ぶというような形になっていたのですが、具体的な絵コンテは選べなかったのですが、第 1 場面的には書いていいですか。わーとなっているような場面、パニックでもいいし、自閉症の人がぴよんぴよん跳ねていてもいいし、自閉症の子供が窓をバンバン叩いているということでもいいのですが、不測の事態が起

きているような場面でそれについて理由であったり、自分達との共通事項、関連性みたいなところであったり、眩しいのが苦手、音が大きいのが苦手、ストレスがかかっている時は自分の許容範囲が狭まることがあるよねというようなことで、それがもしかしたら自閉症の方はそれが強いのではないかというような意味での理由や関連性というようなものが2個目になるというところ。3つ目のコマでいうとわーとなっている理由や関連性はあるが、周りからの目、視線とか圧とかそういったものが苦手、やりづらい、生きづらい、生活しづらいというような場面があり最終的にその場面においても優しさとか声掛けとか、配慮とかというイメージがあって、最後にキャッチコピーが入るといいのではないかということでもよろしいでしょうか。というイメージですよねという話をしました。机上にある絵コンテからどれというものはないのですが、総括するとこんなイメージになりました。以上です。

■会長（Cグループ）

ありがとうございます。Cグループは私から説明します。主に身体障害の絵コンテをどれがいいかということで担当しました。最初1つの種別に絞るのは難しいという話があったのですが、総括的なものはAグループに任せるといような話がありましたので、Cグループとしてはどれかを選ぶしかないということで、どれかを選ぼうという話になりました。その中で着目点としては子供が関わっているのいいとか、対話があった方がいいとか、あとはAグループと同じで日常的にある場面で一度戸惑った上で、それを自分達の知識がなくても解決出来ることのあるというようなことが話せるといいという話があった上で最後の部分に重きがありそうな、あるいはアレンジ力がありそうなものを絵コンテとしてこれを選びました。絵コンテの中身としては聴覚障害の人が何かを訪ねて手話で助けを求めているという状況で、手話がわからないので断る人々と書いたのですが、ここは戸惑う人の方がいいのではないかということで戸惑っている状況を作った上で、一人の人が閃いてスマートフォンの文字で会話をすればいいのではないかということに気付いた上で解決をしていく。そこの登場人物に子供とかが出てくるとこちらが着目点として出したことが出てきやすいのではないかということと会話もある場面ではあるので、この絵コンテがいいのではないかという話になりました。以上です。

ということですが、何か発表に対してこれは言っておきたいという方はいらっしゃいますか。Bグループは選べてないのですが、それは事務

局に今のお話を受けて選定してもらおうという形でよろしいですか。

■事務局

事務局の方でも選定しますし、作業部会でもう一度精神とか、そちらの方のジャンルを皆さんで検討出来てもいいと思うので、今回は一旦こちらで大丈夫です。

■会長

ありがとうございます。なんとなくですが、どのグループでも皆さん同じような思いがあると思いますので、そこは作業部会で調整出来ればと思います。では続きまして、今度は難しいお題なのですけれども2つ目のお題についてグループワークをお願いすることになりますが、その前に休憩でいいのですかね。

■事務局

10分間休憩を取りたいと思います。

■会長

それでは休憩に入ります。

■会長

続きまして、2つ目のお題についてグループワークをお願いします。それでは初めてください。

～2回目グループワーク～

■会長

では、各グループで、どのような話になったかの発表をお願いします。Aグループから発表をお願いします。(A→B→Cの順)

■委員 (Aグループ)

Aグループの方はテーマの設定というところで、かなりどういう形でまとめればいいのかとすごく難しかったです。具体的な言葉というような形ではなかなか出てこなかったのですが、一応どういったものを目指

してやりたいかという部分で障害のある方もそうでない方もみんなが幸せになれる社会と言いますか、そういったものが目指せるようなテーマがいいというところでは皆の意見が一致しました。それで中高生に募集を掛けるということで、具体的なイメージをしやすいようなキーワードがあった方がいいというところまで案は出ているのですが、具体的にどういう言葉がというところまでは捻り出せない状態でした。基本的にはこういったものがあれば一步踏み出す、本当に小さな一步でも踏み出すことによって、それが大きな力になっていくというふうになるような言葉を子供達に考えてもらえればと思っています。小さな一步というのが声掛けやちょっとしたことというのは子供達の方が自分の身の回りのことを見て、そこからイメージしていただきたいという本当にイメージだけの話になってしまったので、具体的に実際に子供達に募集を掛ける時はもっときちんとした言葉で説明出来るようなものになってくるのは、事務局もしくは作業部会の方になるかと思うのですが、基本的には真ん中のところの皆が幸せになれるということを目指すようなテーマを出していただけるような募集が出来ればいいと思っております。まとまっておりませんが以上です。

■会長

ありがとうございました。1点だけ確認ですが、キャッチコピーを募集するのは中・高ではなく、小・中ですよ。ではBグループお願いします。

■委員（Bグループ）

Bグループでもいろいろと出ましたけれども、共生社会、あなたも私も生きていきやすい社会の実現に向けて考えてくださいという感じにするとか、いろいろと出たのですけれども、その中では障害性とかも少し限定した方がわかりやすいのではないかと。あまり広くし過ぎてしまうとわかりにくいのではないかとという話も出ましたが、最終的に子供達にあなたが困った時にどうしてほしいか、どう声を掛けてほしいかというのを出してもらおう。その中に何かいいキャッチフレーズやコピーが出てくるのではないかとこのところになりました。要は障害について差別について考えてくださいと言えばいうほど隔たりを生んでしまうと言いますか、それが教育上逆によろしくないのではないかとこのところまで話も出て、最終的にはあなたが別に障害なんか関係なく困ったらどうしてほしいか、どう声を掛けてほしいかということになりました。以上で

す。

■会長

ありがとうございました。続いてCグループお願いします。

■委員（Cグループ）

Cグループはこちらのホワイトボードに書いてある感じで、まずテーマ設定として障害は特別なことではないというところ、いつでも誰でもどんな場面でも起きたり、関わったりしますし、特別な知識がなくとも今の自分でも力になれることがあるということで、小・中学生向けで言葉尻を作っているのですけれども、それが当たり前な街になってほしいということでその後の説明文のところに行くのですけれども、困っている人に対して君達の1つの気持ち、行動、工夫次第で力になれることがたくさんあると思います。それが当たり前になる府中市になることを目指しています。そのためのキャッチフレーズを考えてくださいということでCグループは話をしました。テーマ設定のところから説明文のところから落としてというところですよ。以上です。

■会長

ありがとうございました。何か皆さんでここはというコメントある方いらっしゃいますでしょうか。副会長、何かありますか。

■副会長

特にありません。

■会長

ありがとうございました。事務局には今回ご提案いただいた皆様のアイデアを基にキャッチフレーズの公募や啓発動画作成に向けて進めていただければと思います。

3. 事務連絡等

■会長

事務連絡等についてです。事務局からお願いいたします。

■事務局

事務局よりご連絡いたします。先ほどもお伝えしましたが作業部会の日程調整表及び啓発動画に関する著作権同意書についての提出がまだの方は事務局までご提出をお願いいたします。次に年末調整の関係ですが、府中市の謝礼が出る会議に今年出席されている方は把握する必要がありますので、お帰りの際に事務局まで申告いただければと思います。障害者福祉課以外の部署にも委員としてご出席されている場合はお手数ですが申告していただければと思います。事務局からは以上です。

■会長

ありがとうございました。会議全体を通して皆さんからここを確認しておきたいといったことがありますでしょうか。ではなければ今日の会議は終了いたします。皆様お疲れ様でした。